



## 内田 勇 議員

# 災害対策の強化策は

### 町長 地域防災計画を全面的に見直す



**問** 政府も15年度までに公立の小・中学校の耐震化を完了すると発表しているが学校の耐震化を急ぐと共に、地震による天井の落下防止策と個人の木造住宅の耐震診断の促進を。

**答** 今後の耐震化や大規模改修、改築が必要な建物は、布勢小の教室管理棟、三成小の普通教室と高尾小の屋内運動場、八川小の普通教室棟及び屋内運動場、仁多中の管理教室棟と横田中の技術教室棟の7棟であり、財源

問題も含め判断したい。木造住宅の耐震改修等促進事業の町制度を利用していただきたい。

**問** 土砂災害ハザードマップ活用の周知徹底と防災教育、防災訓練を。

**答** 町内の土砂災害危険箇所は、急傾斜地85カ所、土石流危険箇所が381カ所あります。

町内9地区及び自治会ごとに防災講座と訓練を開催し、みんなで対策を考える努力をしたい。

**問** 福島原発の事故は、半径20km圏内を住民の立ち入り禁止する警戒区域、30km圏内を計画的避難区域となったが、40kmから50km圏内の飯館村や川俣町も計画的避難区域となった。

島根原発で今日のような事故が起きた場合、40km圏内の奥出雲町はどうなるのか。

**答** 福島原発の結果検証を踏まえた上で、対応を考えるとともに、避難の受け入れ等について準備していく必要がある。

**問** 福島原発の事故は、原子力中心のエネルギー政策のあり方を世界に問いかけている。

今こそ自然エネルギーへの大転換を図り、太陽光、風力、水力等を活用し、環境にやさしい町として、21年度策定の新エネルギービジョンの取り組みを。

**答** 一昨年度新エネルギー計画を、昨年はその流れの中で木質バイオマスタウン構想を策定した。

我が町の一番の資源は、やはり森林であり、佐白の交流施設と玉峰山荘へのチップボイラーを導入していく。

**問** 道路改良整備の促進について、県道38号、吉田から福原への道路と県道51号、温泉平田から鴨倉、河内を通る二つの主要地方道の改良整備を。

また初めて奥出雲町を訪れる方の視点で、よくわかる道路標識の設置を。

**答** 掛合・上阿井線は、鉄の道文化圏にとって極

めて大事な道であり、櫻井家から田部家に向かう道、途中には鉄のフィードミュージアムもあり、改良や、案内、アクセス等について県の土木部と協議したい。

**問** 奥出雲町内遊休施設の活用をテーマに若手の町職員15名がプロジェクトに参加され、すばらしい提案書ができました。若者の視点でとらえた貴重な提案が有効活用されるよう取り組みを。

**答** 遊休になったというのには、それなりの理由があり、若手職員もいろんな議論をしながら苦労したと思うが、取り組み自体は大変うれしいことで、ありがたいと思う。

**問** 斐乃上荘は冬期間の旅館をやめて、ひとり暮らしの高齢者のホームに活用し、一般の入浴客とのふれあいの場になり、健康増進と共に楽しくすごせるよう提案します。

**答** 魅力的な提案だと思うので、実現に向けて検討させていただきます。